

藤沢駅周辺地区再整備事業の進捗状況について

1 藤沢駅周辺地区再整備事業について

藤沢駅周辺地区において、実施済の事業、実施中の事業、検討・協議段階の事業及び関連事業については、次のとおりです。

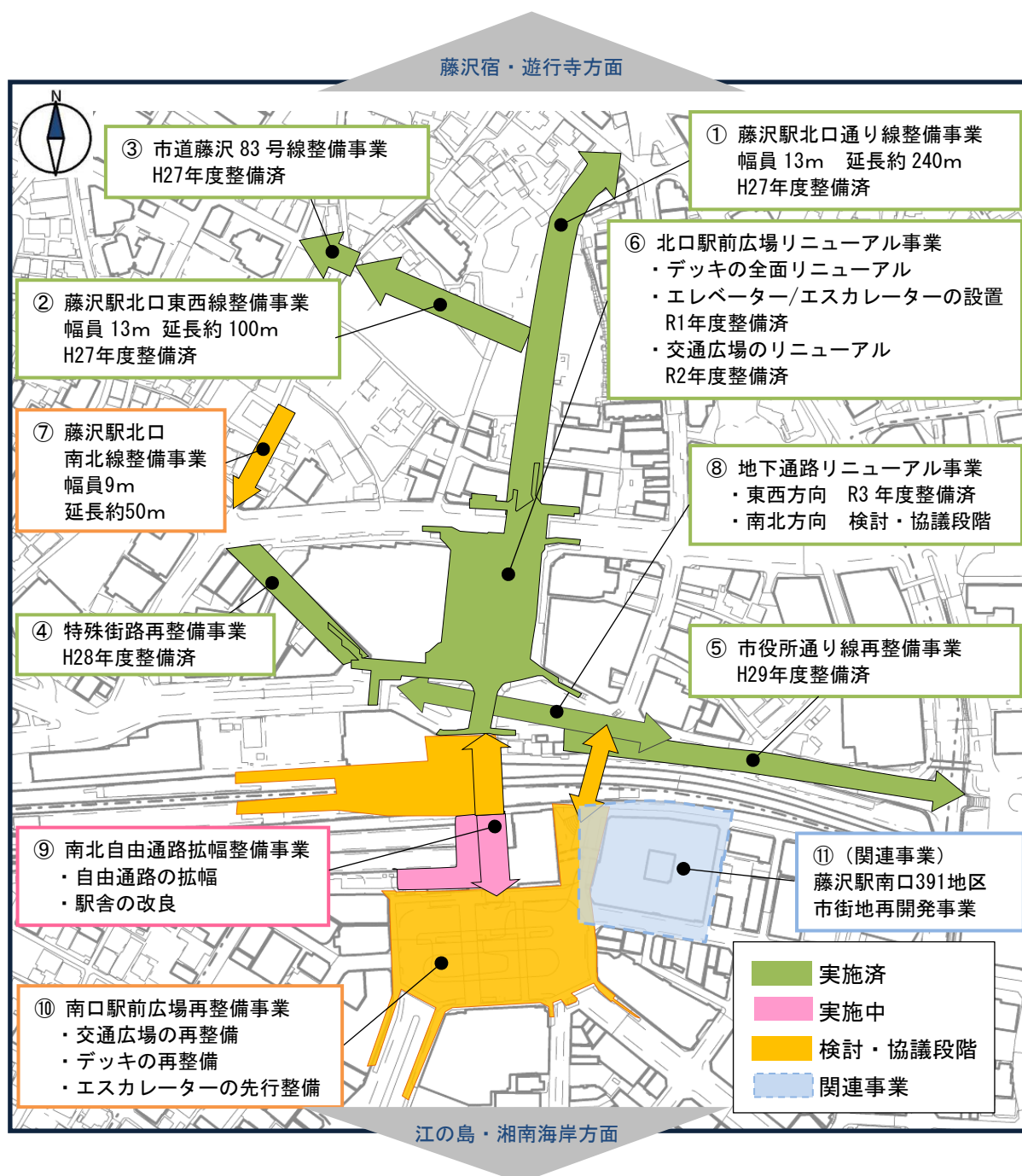


図1 藤沢駅周辺地区再整備事業

2 南北自由通路拡幅整備事業 [1 ページ図 1-⑨]

(1) 事業概要

藤沢駅南北自由通路拡幅整備事業は、駅の南北連携強化などによる市民や来街者の利便性、回遊性の向上、さらにまちの活性化を目的として、小田急電鉄（株）及び東日本旅客鉄道（株）と締結した第1期整備に関する協定に基づき、南北自由通路拡幅及びそれに伴う駅改良事業を実施するものです。

(2) 第1期整備の進捗

○小田急側自由通路拡幅、小田急藤沢駅改札の橋上化

現在、小田急側自由通路拡幅及び小田急藤沢駅改札の橋上化に向けた躯体工事等を進めています。

- | | |
|------|--|
| 工 期 | 令和5年6月12日から令和10年3月31日 |
| 概算費用 | 8,368,321,000 円（うち市負担額 6,421,011,000 円【継続費】） |
| 工事概要 | <ul style="list-style-type: none">・自由通路拡幅 延長約41m 幅員約16m・南口にエレベーター1基整備・橋上駅舎 約2,451㎡・駅コンコース内にエレベーター2基、エスカレーター4基整備 |



図2 施工状況（橋上駅舎上空）



図3 施工状況（橋上駅舎内）

○JR東日本側自由通路接続部の詳細設計

第1期整備範囲の最も北側に位置するJR東日本側自由通路接続部については、令和8年度から着手を予定している設備工事等に向け、詳細設計を行っています。

- | | |
|------|-----------------------------------|
| 工 期 | 令和7年4月1日から令和8年2月28日 |
| 概算費用 | 28,600,000 円（うち市負担額 28,600,000 円） |
| 設計概要 | 自由通路接続部の設備の設計等 |

(3) 今後のスケジュール

今後の主なスケジュールについては、引き続き、小田急側自由通路拡幅及び小田急藤沢駅改札の橋上化に向けた整備を進め、令和8年1月末に橋上駅舎の一部使用を開始し、新たに2階レベルの改札も利用できるようになります。

その後、令和8年度末までに改札内のエレベーター、エスカレーターを使用開始し、令和9年度末までに既存駅舎ビル解体及び新設整備、既存自由通路の改修を行い、第1期整備の完了を目指します。

また、第2期整備については、第1期整備後の速やかな工事着手に向け、鉄道事業者や国と調整を進めています。なお、今後は近年の物価高騰の状況や駅改良に関する鉄道事業者の意向を踏まえ、事業費精査を行ったうえで取組を進めます。

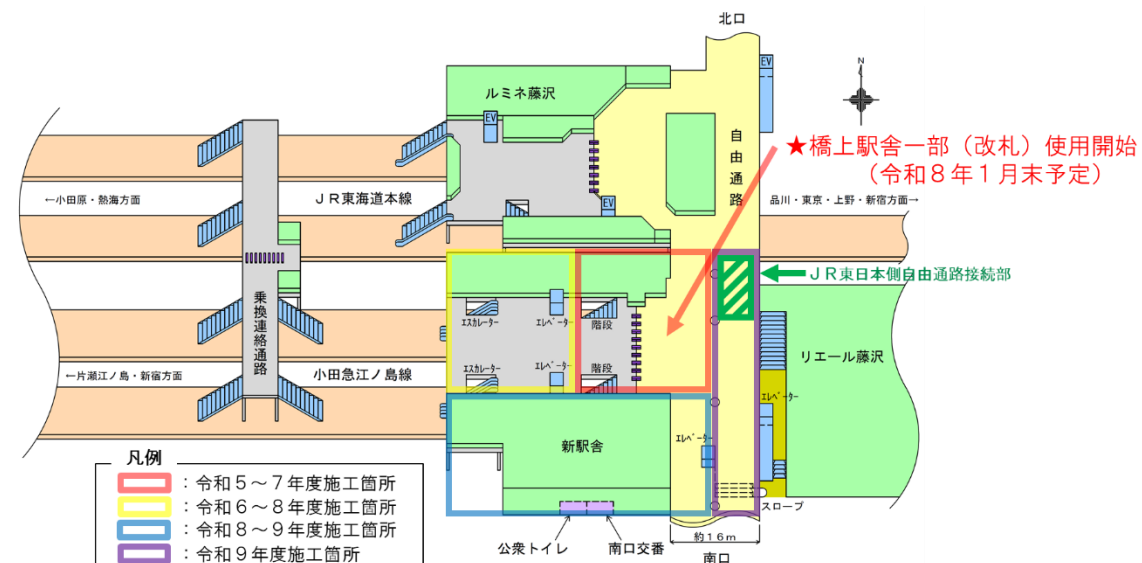


図4 第1期整備の主な施工箇所（平面図）



図5 事業スケジュール（自由通路）

3 南口駅前広場再整備事業 [1 ページ図 1-⑩]

(1) 事業概要

南口駅前広場再整備については、車中心の広場から、歩行者と車が共存する広場へと転換するため、車道と歩道のバランスを見直すとともに、周辺の民間施設との連携等も見据えながら、公共交通のために必要な機能を確保しつつ、歩行空間の拡充と滞留空間の創出を目指しています。

なお、広場北西部に計画しているエスカレーターについては、南北自由通路拡幅整備事業の第1期整備の完了後に、先行して整備を行っていきます。

(2) 進捗状況

○広場全体再整備の検討状況

南北自由通路拡幅整備事業の第2期整備後に着手できるよう、令和5年度に策定した「藤沢駅南口駅前広場再整備基本計画」に基づき、令和6年度以降に検討を深度化させてきました。現在は、その結果を基に、交通管理者である神奈川県警察と協議を重ねています。



図6 交通管理者と協議中のイメージパス（令和7年3月現在）

○先行整備の検討状況

駅前広場北側に隣接して整備する小田急新駅舎内の通路の完成に合わせ、新駅舎前の既存デッキ、階段を撤去し、エスカレーター及び接続デッキの新設を、広場全体の再整備に先行して整備します。令和7年度は、エスカレーター等の設置に支障となる他企業（水道・ガス・電気・通信）の埋設管移設が、部分的に実施されるとともに、詳細設計を実施し、令和10年度の先行整備完了を目指して進めていきます。



図7 先行整備位置図



図8 エスカレーター整備イメージ

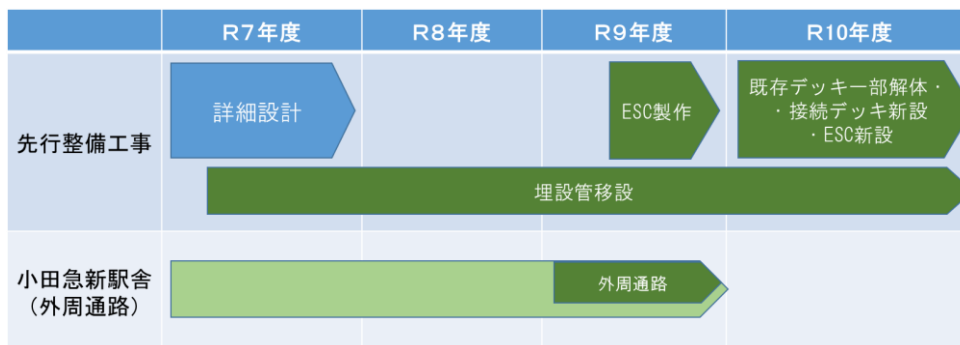


図9 事業スケジュール（先行整備）

4 エリアマネジメント

藤沢駅周辺地区のにぎわい創出や魅力づくりの仕組みとして、藤沢駅北口の駅前広場等の公共空間を中心に、官民が連携したエリアマネジメントの取組を進めております。

2期目の2年目を迎えた指定管理事業では、広場の維持管理やにぎわい創出として、サンパール広場で実施しているマーケット251や藤沢夜市を定期的に実施するとともに、昨年度からサンパレット広場を中心に FARMERS MARKET を実施しております。なお、藤沢夜市では新たな出展者のブースを設けるとともに、FARMERS MARKET では夏場において、時間帯を涼しくなる夕方に変更するなど、定着してきたイベントに工夫を凝らすことで、より一層の賑わい創出が図られております。

また、地域貢献の取組として、サンパール広場周辺の事業者の方と情報交換や広場の清掃活動を行うとともに市内の高校生の課外授業の場として地下広場を提供する等、地域と共に賑わい創出に取り組んでおります。



図10 藤沢夜市



図11 うみべの FARMERS MARKET

エリアマネジメントの活動状況

5 （関連事業）藤沢駅南口391地区市街地再開発事業〔1ページ図1-⑪〕

(1) 事業概要

南口駅前広場に面する391地区（フジサワ名店ビル・ダイヤモンドビル・CDビル）において、本市の都心部にふさわしい都市空間の形成に向け、商業・業務機能の充実を目指した建物や機能の更新を図るとともに、都市基盤の整備を行うことを目的とした市街地再開発事業を実施するものです。

(2) 事業の進捗状況

藤沢駅南口 3 9 1 地区市街地再開発準備組合は、令和 6 年度から新たに(株)平田晃久建築設計事務所を加えて基本設計を進めておりますが、近年の物価高騰に伴う工事費の高騰により、事業計画を精査する必要が生じ、事業の進捗に時間を要しております。

今後につきましては、このような課題を検討したうえで、次年度以降の組合設立に向け、事業方針を定めていく予定としております。

(事務担当 都市整備部 藤沢駅周辺地区整備担当)